



平成 21 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 タカタ株式会社
 代表者名 取締役社長 高田 重久
 (コード番号 7312 東証第一部)
 問合せ先 執行役員経営管理部長 野村 洋一郎
 (TEL. 03-3582-9228)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 12 日の決算発表時に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	310,000	3,000	1,500	0	—
今 回 修 正 予 想 (B)	330,000	10,000	9,000	2,000	24.41
増 減 額 (B-A)	20,000	7,000	7,500	2,000	—
増 減 率 (%)	6.5	233.3	500.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	385,499	2,845	369	△7,319	△89.40

(2) (参考) 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	94,000	0	1,200	1,150	14.04
今 回 修 正 予 想 (B)	100,000	3,000	3,500	2,500	30.51
増 減 額 (B-A)	6,000	3,000	2,300	1,350	—
増 減 率 (%)	6.4	—	191.7	117.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	125,583	1,110	3,215	1,548	18.91

2. 修正の理由

自動車業界は厳しい経営環境が継続したものの、世界各国のインセンティブ政策等に起因し、上半期は若干の回復傾向がみられました。これによる増収に加え、コスト削減も計画を上回る水準で推移したため、上半期は予想を上回る業績を達成しました。

下半期においても同様の傾向は継続するものの、インセンティブ政策の打ち切り等による影響もあり、一部アジア地域において明るさはあるものの、依然、先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

この結果、売上高は上半期の増収、及び若干の景気回復傾向を反映し、200億円増加の3,300億円を見込んでおります。また増収に加え、コスト削減も引き続き推進することより、営業利益は70億円増加の100億円となり、これにより経常利益及び当期純利益については各々、90億円、20億円となる見込みであります。

3. 配当予想の修正

	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 12 日発表)	(未定)	(未定)	(未定)
今回修正予想 (B)	5 円 00 銭	(未定)	(未定)
増減額 (B-A)	5 円 00 銭	—	—
(ご参考) 前期 (平成 21 年 3 月期) 実績	20 円 00 銭	5 円 00 銭	25 円 00 銭

(修正の理由)

前回発表時において、通期での当期純利益ゼロという業績見込みを勘案し、中間配当金及び期末配当金を未定としましたが、業績予想の修正により通期業績の黒字化を見込めること等より、中間配当金を5円といたしました。また期末配当金については、引き続き未定とさせていただきます。

なお中間配当の実施及びその詳細については、11月下旬開催予定の取締役会の決議をもって確定する予定であります。

※ 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上